

事務事業名	移住定住情報発信・相談事業		所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課			
総合計画体系	政策名	(I)みんなで築くまち<<協働・行政経営>>		所属G	うんなん暮らし推進グループ	課長名	高田 浩二		
	施策名	(02)移住・交流の推進		担当者名	野々村 一彦	電話番号	0854-40-1014 (内線) 2323		
	目的	対象	市外の人・市民	意図	雲南市を好きになり、移住・定住してもらう。				
	基本事業名	(006)移住のための相談・支援体制の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名	定住対策促進事業
目的	対象	市外の人・市民	意図	安心して移住・定住してもらう。			中事業	中事業名	移住定住促進事業
				0	1	1	0	0	3
				0	5	6	5	0	8

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (27 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
定住情報サイト「ほっこり雲南」や全国移住ナビなど関係機関が運営するwebサイトを活用し、情報発信を行うとともに、東京・大阪・広島での定住相談イベントやJOIN(一般社団法人移住・交流推進機構)が主催するイベントへ参加し、雲南市の定住支援情報を発信する。定住相談の総合窓口として、専属スタッフによる空き家など住居情報の提供や就業・就農支援、定住後の生活サポートを行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	30年度実績(30年度に行った主な活動)	元年度計画(元年度に計画する主な活動)				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	ア	相談件数	件	415	371	464	400
	イ	空き家登録件数	件	41	27	40	40
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	市民・市外から移住を考える人	ア	相談件数	件	415	371	464	400
		イ	空き家登録件数	件	41	27	40	40
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)		
雲南市へ定住してもらう	ア	転入者人口(10～9月)	人	908	711	742	1,061	
	イ	市外から移住した人数(定住推進員がワンストップ窓口として関わるもの)	世帯・人	39・76	24・50	36・75	64・151	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)	
・報償費 334千円 ・費用弁償 1177千円 ・旅費 969千円 ・需用費 520千円 ・役務費 267千円 ・委託料 1096千円 ・材料及び賃借料 41千円 ・補助金 873千円	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	3,347		1,163	8,488
	一般財源	千円		4,496	4,114		
	事業費計(A)	千円	3,347	4,496	5,277	8,488	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	1,500	1,500	1,500	
		人件費計(B)	千円	5,951	6,116	6,498	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,298	10,612	11,775		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
田舎暮らしを希望する都会のUIターン希望者が増加しており、相談件数も年々増加している。また、高齢化が進む集落が増加しており、後継者対策が喫緊の課題となっている。	関係部局・団体との連携強化を図るため、人口の社会増の推進体制を構築するとともに、定期的に担当者レベルの会議を行い情報共有に努めている。子育て世代などの若い世代に向けた情報発信を強化している。定住支援スタッフの体制強化により、きめ細やかな対応を図っている。	定住相談のワンストップ窓口として対応していることから、移住・定住希望者に喜ばれており、実績も上がっている。 女性目線に立った相談体制の強化を図ることが求められている。

事務事業名	移住定住情報発信・相談事業	所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
-------	---------------	-----	-------	-----	------------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 →	
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 →		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 →		
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	各部局と連携し移住者等の支援の充実や情報提供を行う。積極的な移住定住に向けた情報発信を行うとともに、UIターンフェア等の参加回数を増加する。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
<input type="checkbox"/> 影響無	理由	人口減少、特に人口の社会減がさらに進むとともに空き家が増加し、地域の活力が衰退する。		
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有				
C 効率性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 →	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	現状、他に類似事業がない。			
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	第2次雲南市総合計画において、人口の社会増を最優先の課題として取り組むには、事業費の削減は難しい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	相談件数が増えている上、空き家や農地など移住者のニーズも多様化しており、定住フェア等への積極的な参加も行い、休日も含め即時対応している。		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない				
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	移住定住相談者には全て平等に対応している。空き家についても、広く活用の呼びかけを行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である				
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	定住推進員によるきめ細やかな対応により、移住・定住実績が上がっている。就業就農情報や子育て情報を求められるケースが増えており、産業振興部及び子ども政策局と連携し対応していく必要がある。	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下		×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上	●																		
	維持		×																	
低下		×	×																	
<p>移住定住対応スタッフを増員配置し、移住・定住希望者にきめ細かい対応を図る。</p> <p>市役所各部局と連携し、就業就農支援・子育て教育支援、住居支援の充実に努めるとともに、定住サイト・SNSによる情報発信及び都市圏で開催される定住フェアにおいて、移住希望者へ情報提供や相談を行いUIターンを促進する。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			